

平成 31 年 3 月

会 員 各 位

四国紙パルプ研究協議会
会長 鮫 島 一 彦

講 演 会 開 催 の ご 案 内

平成 30 年度第 2 回講演会を下記のとおり開催いたします。
ご多忙中とは存じますが多数ご出席下さいますよう、ご案内申し上げます。

記

開催日時 平成 31 年 3 月 15 日 (金) 13:30～15:50
開催場所 高知県立紙産業技術センター 2 階研修室
吾川郡いの町波川 287-4 TEL 088-892-2220

演題要旨

『海洋ごみとマイクロプラスチックを巡る最近の動向について』 13:35～14:35(60)
京都大学生存圏研究所 生物機能材料分野 研究連携マネージャー 奥平 有三 氏
海洋プラスチック問題の現状(成果の分布など)、我が国の漂着ごみの実情(種類、製造国など)、
マイクロプラスチックの排出の実態(原料から各種用途、形状、材質など)についてまとめを述
べた後、最近の国際動向・国内動向について説明する。また、環境への漏出の可能性について用
途ごとに概説し、海外規制(米国、イギリスやEUの長期プラスチック戦略、カナダ、オースト
ラリア、インドなど)および国内業界の自主的な規制と環境への影響の認識について説明する。
最後に、今後の課題についてまとめる。

(休憩 10 分間/時間調整)

『四国の機能紙産業の発展経緯と将来』 14:45～15:45(60)
㈱日本政策投資銀行四国支店 企画調査課 課長 橋本 泰博 氏
四国地域は、静岡県と並ぶ紙産業の集積地である。とりわけ四国地域は、創業時に和紙づくり
等を営み、その技術を基礎としつつ、世界的にも初期の段階から機能紙・不織布の製造を開始し
た企業が多く立地する点に特徴を有する。日本政策投資銀行四国支店は、四国の紙産業に携わる
産学官の多くの方のご協力を頂き、これら企業群の発展経緯と現状、将来について取り纏めたレ
ポートを作成した(『四国の機能紙産業の発展経緯と将来』(2018年8月))。本講演は、四国の経
済・産業に関する各種調査結果等を交えつつ、当該レポートの報告を中心に行うものである。

参加費 無 料

申込先 四国紙パルプ研究協議会事務局
〒799-0101 愛媛県四国中央市川之江町 4084-1
TEL 0896-58-2055 FAX 0896-58-6240
E-mail info@e-kami.or.jp

申込方法 平成 31 年 3 月 8 日 (金) 迄に下記申込書をファクスにて送信ください。

四国紙パルプ研究協議会事務局行 FAX: 0896-58-6240

平成 30 年度 第 2 回講演会参加申込書			
事業所名		TEL 番号	
		FAX 番号	
参加者氏名		所属・役職	